

2022年度事業報告書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

2023年6月30日

一般財団法人石田實記念財団

2022年度の事業報告及び決算報告について

2022年度 事業報告

<自 2022年4月1日 至 2023年3月31日>

2022年度は、9月16日（金）に開催の研究奨励賞選考委員会にて、推薦された方々のうち1名に研究奨励賞特別賞（石田賞）を、11名に研究奨励賞を贈呈することを決定しました。12月2日（金）開催の研究奨励賞贈呈式・研究発表会では、研究奨励賞特別賞（石田賞）の東北大学電気通信研究所の葛西恵介准教授に100万円の賞金と本賞の楯を、研究奨励賞の東北大学大学院工学研究科の宮本浩一郎准教授他10名の先生方に50万円の賞金と本賞の楯を贈呈いたしました。

これにより、1989年度の財団創設時より2022年度までの助成件数は262件、賞金額の合計は144,100,000円となりました。

ここに、あらためて、宮城県および関係企業の皆様、そして財団理事、監事、評議員の方々のお力添え、ご厚情に感謝申し上げます。

2022年度の事業概要は次のとおりです。

I. 財団行事

1. 2022年6月3日（金） ※COVID-19 拡散防止のためオンライン形式

第29回理事会

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 第1号議案 | 2021年度の事業報告及び決算報告について |
| 第2号議案 | 役員（理事、監事）および評議員の改選による評議員会への候補者推薦について |
| 第3号議案 | 2022年度スケジュールについて |
| 第4号議案 | 固定資産2件の除却について |
| 第5号議案 | 普通預金の基本財産から流動資産への補填上限について |

2. 2022年6月17日（金） ※COVID-19 拡散防止対策のうえ実施

第22回評議員会（場所：仙台ガーデンパレスホテル）

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 第1号議案 | 2021年度の事業報告及び決算報告について |
| 第2号議案 | 役員（理事、監事）および評議員の改選による後任者の選任について |
| 第3号議案 | 2022年度スケジュールについて |
| 第4号議案 | 固定資産2件の除却について |
| 報告事項 | 普通預金の基本財産から流動資産への補填上限額について |

3. 2022年6月23日（木） ※COVID-19 拡散防止のため書面審議により採決

第30回理事会

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 当法人は、大井電気株式会社の株主として、同社の第98期 |
|-------|-----------------------------|

定時株主総会における以下の議案について、会社提案議案に賛成、株主提案議案に反対の議決権を行使すること。

第 2 号議案 第 1 号議案の議決権行使および議場における動議対応について、その権限を包括委任状により委任すること。

4. 2022 年 6 月末～

研究奨励賞推薦依頼開始

5. 2022 年 9 月 16 日（金） ※COVID-19 拡散防止対策のうえ実施

研究奨励賞選考委員会

（場所：東北大学青葉山新キャンパスレアメタル総合棟（RaMGI 棟）2 階会議室）

6. 2022 年 12 月 2 日（金） ※COVID-19 拡散防止対策のうえ実施

研究奨励賞贈呈式・発表会（場所：東北大学 青葉記念会館 4 階大会議室）

7. 2023 年 3 月 17 日（金） ※COVID-19 拡散防止対策のうえ実施

第 31 回理事会

第 1 号議案	2023 年度事業計画および予算について
第 2 号議案	2023 年度資産の運用について
第 3 号議案	2023 年度財団スケジュールについて
第 4 号議案	当財団住所の登記変更について
報告事項	2022 年度の事業報告及び決算報告（仮）について
その他	2023 年度当財団名簿（案）について

第 24 回評議員会

第 1 号議案	2023 年度事業計画および予算について
第 2 号議案	2023 年度資産の運用について
第 3 号議案	2023 年度財団スケジュールについて
第 4 号議案	当財団住所の登記変更について
報告事項	2022 年度の事業報告及び決算報告（仮）について
その他	2023 年度当財団名簿（案）について

II. 試験研究支援事業

先述のとおり、宮城県内の大学、高等専門学校等に対し研究奨励賞候補者の推薦を依頼したところ 12 名の推薦があり、9 月 16 日に開催された研究奨励賞選考委員会での審議の結果、以下〈P.4資料-1〉のとおり 12 件の研究が採択されました。うち 1 件が研究奨励賞特別賞（石田賞）、11 件が研究奨励賞となっております。

2022 年度研究奨励賞受賞研究

資料一

レーザーの高精度周波数・位相制御技術とそのコヒーレント多値光伝送への応用に関する研究（石田賞賞） 東北大学電気通信研究所	准教授 葛西恵介
半導体化学センサによって隙間腐食をその場観察する手法の開発に関する研究 東北大学大学院工学研究科	准教授 宮本浩一郎
分子秩序性有機材料を駆使した情報通信基盤技術の開拓に関する研究 東北大学大学院工学研究科	助教 柴田陽生
人流データのネットワーク分析およびその応用に関する研究 東北大学大学院情報科学研究科	准教授 藤原直哉
屋根上PVとEVを使った大幅な都市の脱炭素化：SolarEVシティー構想に関する研究 東北大学大学院環境科学研究科	准教授 小端拓郎
行動同期/脳活動同期に基づく対人コミュニケーションに関する研究 東北大学電気通信研究所	准教授 Tseng Chia-Huei
情報通信における整数論的諸問題のための量子アルゴリズムの開発に関する研究 東北学院大学工学部	准教授 佐々木義卓
昆虫に特異的な機械感覚毛の機能解明および感覚毛を模倣した小型音センサへの応用可能性に関する研究 東北学院大学教養学部	准教授 土原和子
睡眠モニタリングシステムの開発に関する研究 東北工業大学工学部	准教授 辛島彰洋
計算が困難な問題への統計力学の応用によるアルゴリズム高度化に関する研究 東北文化学園大学工学部	講師 中島千尋
SDNを用いた新世代ネットワークに関する研究 仙台高等専門学校	准教授 和泉諭
人間の感性情報処理特性に基づく情報伝達のための画面デザインに関する研究 仙台高等専門学校	准教授 伊師華江

Ⅲ. 試験研究設備設置事業

本年度はありませんでした。

IV. 講演会開催事業

研究奨励賞贈呈者による研究発表会の開催

2022 年度試験研究支援事業における研究奨励賞贈呈者による研究発表会を、同年度の主事業と位置付け、次のとおり開催しました。

開催日	2022 年 12 月 2 日（金）13 時～17 時 25 分		
会場	東北大学 青葉記念会館 4 階大会議室		
来賓	東北大学工学研究科長工学部長	湯上浩雄	先生
	東北学院大学電気通信研究所教授	廣岡俊彦	先生
	東北学院大学工学部電気電子工学科長	金義鎮	先生
	東北工業大学工学部電気電子工学科長	藤田豊己	先生
	仙台高等専門学校校長	澤田恵介	先生

研究奨励賞贈呈者による発表内容につきましては、上記Ⅱの試験研究支援事業と同じ内容となります。

V. 決算報告

2022 年度の決算報告につきましては以下のとおりです。

① 貸借対照表＜資料-2（P.6）＞

2021 年度比で、普通預金（三菱UFJ信託）4,268,095 円の減少、投資信託口座（楽天・SBI証券）3,100,000 円の減少、投資信託（積立）2,427,481 円の減少、投資信託（私募投信）1,036,164 円の減少、投資有価証券（国債・地方債）460,500 円の減少、投資有価証券（株式）7,084,600 円の増加となり基本財産は 4,207,640 円減少し、流動資産他と合わせた資産合計（一般正味財産）は 4,207,642 円減少の 199,462,398 円となりました。

② 正味財産増減計算書＜資料-3（P.7）＞

経常収益は株式の配当減少等により、最終的に前年度比 768,725 円減少の 1,561,439 円となりました。

経常費用は研究奨励賞贈呈件数が特別賞（石田賞）を含む 3 件増の 12 件となったことなどにより、前年度比 2,463,491 円増加の 9,129,534 円となりました。

評価損益等は、主に投資有価証券評価益により前年度比 2,285,769 円増加の 3,360,455 円となりました。詳細は「2022 年度投資有価証券評価損益について」＜資料-4（P.8）＞のとおりです。

また、決算報告にかかる外部監査報告書は＜資料-9（P.13～14）＞、内部監査報告書は＜資料-10、資料-11（P.15～16）＞となっております。

貸借対照表

資料-2

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 1	131,733	85,811	45,922
普通預金（三菱UFJ信託） 2-1	4,561,991	3,806,541	755,450
普通預金（七十七） 3	174,515	56,159	118,356
普通預金（大和ネクスト銀行） 4	7	7	0
投資信託口座（楽天・SBI証券） 8-1. 8-2	0	800,000	△ 800,000
仮払金 6	255,076	374,804	△ 119,728
流動資産 合計	5,123,322	5,123,322	0
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金（三菱UFJ信託） 2-2	6,678,660	10,946,755	△ 4,268,095
投資信託口座（楽天・SBI証券） 8-3. 8-4	225,327	3,325,327	△ 3,100,000
投資信託（積立） 10	64,032,013	66,459,494	△ 2,427,481
投資信託（私募投信） 5-3	10,065,371	11,101,535	△ 1,036,164
投資有価証券（国債・地方債） 9-1	16,549,500	17,010,000	△ 460,500
投資有価証券（株式） 9-2	96,860,200	89,775,600	7,084,600
基本財産 合計	194,411,071	198,618,711	△ 4,207,640
(2) その他の固定資産			
工具・器具 11	5	7	△ 2
その他の固定資産 合計	5	7	△ 2
固定資産合計	194,411,076	198,618,718	△ 4,207,642
資産合計	199,534,398	203,742,040	△ 4,207,642
II 負債の部			
未払法人税等44	72,000	72,000	0
負債合計	72,000	72,000	0
III 正味財産の部			
一般正味財産	199,462,398	203,670,040	△ 4,207,642
（うち基本財産への充当額）	（ 194,411,071 ）	（ 198,618,711 ）	（ △ 4,207,640 ）
負債及び正味財産合計	199,534,398	203,742,040	△ 4,207,642

正味財産増減計算書

資料-3

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,561,296)	(2,329,832)	(△ 768,536)
基本財産受取利息16-1	225,000	225,000	0
基本財産受取配当金16-2	1,336,296	2,104,832	△ 768,536
② 受取寄付金	(0)	(0)	(0)
受取寄付金	0	0	0
③ 雑収益	(143)	(332)	(△ 189)
受取利息17	143	332	△ 189
雑収入18	0	0	0
経常収益計	1,561,439	2,330,164	△ 768,725
(2) 経常費用			
① 事業費	(7,751,061)	(5,454,115)	(2,296,946)
・ 試験研究支援事業費	(7,362,840)	(5,089,377)	(2,273,463)
奨励賞19	7,094,000	4,908,375	2,185,625
役員報酬20	160,000	160,000	0
旅費交通費21	40,750	3,710	37,040
会場諸費22	0	0	0
雑費23	68,090	17,292	50,798
・ 講演会開催及び後援事業費	(388,221)	(364,738)	(23,483)
諸謝金24	0	0	0
役員報酬25	180,000	180,000	0
旅費交通費26	50,530	78,730	△ 28,200
会場諸費27	24,968	20,700	4,268
負担金28	0	0	0
雑費29	132,723	85,308	47,415
・ 産学官交流事業費	(0)	(0)	(0)
寄附金30	0	0	0
雑費31	0	0	0
② 管理費	(1,378,473)	(1,211,928)	(166,545)
役員報酬32	360,000	360,000	0
会議費33	305,800	0	305,800
旅費交通費34	58,540	6,140	52,400
通信費35	37,798	86,955	△ 49,157
事務用消耗品費36	2,860	32,509	△ 29,649
広告宣伝費37	275,732	275,732	0
雑費38	2,913	19,254	△ 16,341
諸謝金39	0	0	0
支払手数料40	262,680	355,102	△ 92,422
支払利息41	0	0	0
法人税等42	72,000	72,000	0
減価償却43	0	4,022	△ 4,022
租税公課45	150	214	△ 64
経常費用計	9,129,534	6,666,043	2,463,491
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,568,095	△ 4,335,879	△ 3,232,216
基本財産評価損益等9-3、9-4	3,360,455	1,074,686	2,285,769
評価損益等計	3,360,455	1,074,686	2,285,769
当期経常増減計	△ 4,207,640	△ 3,261,193	△ 946,447
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損46	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減計	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額	△ 4,207,642	△ 3,261,193	△ 946,449
一般正味財産期首残高	203,670,040	206,931,233	△ 3,261,193
一般正味財産期末残高	199,462,398	203,670,040	△ 4,207,642
II 正味財産期末残高	199,462,398	203,670,040	△ 4,207,642
	投資有価証券評価益9-3	8,358,261	
	投資有価証券評価損9-4	4,997,806	
	評価損益等計	3,360,455	

正味財産増減計算書内訳書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

科 目	公益目的事業		法人会計 (管理費)	内部取引等消去	合計 (A)	2021年度 決算 (B)	差異 (A-B)
	種1	共通					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経費増減の部							
(1) 経費収益							
① 基本財産運用益	(1,092,907)	0	468,389	0	(1,561,296)	(2,329,832)	(△ 768,536)
基本財産受取利息16-1	157,500	0	67,500	0	225,000	225,000	0
基本財産受取配当金16-2	935,407	0	400,889	0	1,336,296	2,104,832	△ 768,536
② 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
③ 雑収益	0	0	143	0	143	332	(△ 189)
受取利息17	0	0	143	0	143	332	(△ 189)
雑収入18	0	0	0	0	0	0	0
雑収入18 経常収益計	1,092,907	0	468,332	0	1,561,239	2,330,164	(△ 768,925)
(2) 経常費用							
① 事業費	(7,751,061)	0	0	0	(7,751,061)	(5,454,115)	(△ 2,296,946)
・ 試験研究等事業費	(7,362,840)	0	0	0	(7,362,840)	(5,089,377)	(△ 2,273,463)
賃借料19	7,094,000	0	0	0	7,094,000	4,908,375	2,185,625
役員報酬20	160,000	0	0	0	160,000	160,000	0
旅費交通費21	40,750	0	0	0	40,750	3,710	37,040
会費贈答費22	0	0	0	0	0	0	0
雑費23	68,090	0	0	0	68,090	17,292	50,798
・ 講演会開催及び出張事業費	(388,221)	0	0	0	(388,221)	(164,738)	(△ 223,483)
諸謝金24	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬25	180,000	0	0	0	180,000	180,000	0
旅費交通費26	50,530	0	0	0	50,530	78,730	(△ 28,200)
会費雑費27	24,968	0	0	0	24,968	20,700	4,268
賃借料28	0	0	0	0	0	0	0
雑費29	132,723	0	0	0	132,723	85,308	47,415
・ 産学官交流事業費	0	0	0	0	0	0	0
寄附金30	0	0	0	0	0	0	0
雑費31	0	0	0	0	0	0	0
② 管理費	(0)	0	1,378,473	0	(1,378,473)	(1,211,928)	(△ 166,545)
役員報酬32	360,000	0	360,000	0	360,000	360,000	0
会議費33	305,800	0	305,800	0	305,800	305,800	0
旅費交通費34	58,540	0	58,540	0	58,540	6,140	52,400
通信費35	37,798	0	37,798	0	37,798	86,955	(△ 49,157)
事務用消耗品費36	2,860	0	2,860	0	2,860	32,509	(△ 29,649)
広告宣伝費37	275,732	0	275,732	0	275,732	275,732	0
雑費38	2,913	0	2,913	0	2,913	19,254	(△ 16,341)
諸謝金39	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料40	262,680	0	262,680	0	262,680	355,102	(△ 92,422)
支払利息41	0	0	0	0	0	0	0
法人税等42	0	0	72,000	0	72,000	72,000	0
減価償却費43	0	0	0	0	0	4,022	(△ 4,022)
租税公課45	0	0	150	0	150	214	(△ 64)
経常費用計	7,751,061	0	1,378,473	0	9,129,534	6,666,043	2,463,491
前面増益等調整前当期経常増減額	△ 6,658,154	△ 6,658,154	△ 909,941	0	△ 7,568,095	△ 4,335,879	△ 3,232,216
基本財産評価増減等9-3,9-4	0	0	3,360,455	0	3,360,455	1,074,686	2,285,769
前面増益等計	△ 6,658,154	0	3,360,455	0	△ 3,297,699	107,468	2,285,769
当期経常増減計	△ 6,658,154	0	2,450,514	0	△ 4,207,640	△ 3,261,193	△ 946,447
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産売却損46	0	0	2	0	2	0	2
経常外費用計	0	0	2	0	2	0	2
当期経常外増減計	0	0	△ 2	0	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額	△ 6,658,154	0	2,450,512	0	△ 4,207,642	△ 3,261,193	△ 946,449
一般正味財産増減高	△ 6,658,154	0	2,450,512	0	△ 4,207,642	206,931,233	△ 3,261,193
一般正味財産期末残高					199,462,398	203,670,040	△ 4,207,642
II 指定正味増減の部							
当期指定正味財産増減額					0	0	0
指定正味財産増減高					0	0	0
指定正味財産期末残高					0	0	0
III 正味財産期末残高					199,462,398	203,670,040	△ 4,207,642

財産目録

2023年3月31日現在

資料-6

(単位：円)

科 目		金 額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金1	現金手元有高	131,733	
普通預金2-1	三菱UFJ信託銀行仙台支店	4,561,991	
普通預金3	七十七銀行泉中央支店	174,515	
普通預金4	大和ネクスト銀行	7	
仮払金6	(受取利息配当金の源泉所得税他)	255,076	
	現金預金 合計	5,123,322	
	流動資産 合計		5,123,322
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金			
普通預金2-2	三菱UFJ信託銀行仙台支店	6,678,660	
投資信託口座8-3,8-4	楽天証券、SBI証券	225,327	
	現金預金計	6,903,987	
投資有価証券(国債・地方債) 9-1			
国債	第144回20年国債	16,549,500	
	(期間20年 年利1.5%、満期H43年3月20日)		
	債券計	16,549,500	
投資有価証券(株式) 9-2			
日本フィールドエッジコリアック(株)		2,250,000	
大井電気(株)		59,673,600	
大和ハウス		2,179,800	
花王		3,100,200	
富士フィルムHLDGS		2,009,400	
出光興産		1,740,000	
ダイキン工業		4,731,000	
村田製作所		2,412,000	
トヨタ自動車		752,000	
伊藤忠		5,161,200	
三井物産		4,116,000	
住友商事		2,341,000	
三菱商事		5,701,200	
NTTデータ		692,800	
	株式計	96,860,200	
投資信託(積立) 10			
世界経済インデックスファンド(楽天証券)		24,613,004	
三井住友DC年金プラス50(楽天証券)		22,822,188	
野村インデックスファンド(SBI証券)		16,596,821	
投資信託(私募投信) 5-3			
グローバル・ファンチャイス・ファンドM(三菱UFJ信託銀行)		10,065,371	
	投資信託計	74,097,384	
	基本財産 合計	194,411,071	
(2) その他の固定資産			
工具・器具11	測定器他計5点	5	
	その他の固定資産 合計	5	
	固定資産合計		194,411,076
	資産合計		199,534,398
II. 負債の部			
1. 流動負債			
	未払法人税等44	72,000	
	流動負債合計	72,000	
	負債合計		72,000
	正味財産合計		199,462,398

財務諸表に対する注記

資料-7

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
 その他の有価証券
 時価のあるもの・・・時価法を採用している。
 時価のないもの・・・原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
 工具・器具・・・・・・・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理・・・税込方式を採用している。

2 基本財産の増減額及びその残高は次の通りである。 単位：円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	14,272,082	11,700,000	19,068,095	6,903,987
投資有価証券(債券)	17,010,000	0	460,500	16,549,500
投資有価証券(投資信託)	77,561,029	5,052,061	8,515,706	74,097,384
投資有価証券(株式)	89,775,600	8,106,200	1,021,600	96,860,200
合計	198,618,711	24,858,261	29,065,901	194,411,071

3 基本財産の財源等の内訳は次の通りである。 単位：円

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
現金預金	6,903,987	0	6,903,987	0
投資有価証券(債券)	16,549,500	0	16,549,500	0
投資有価証券(投資信託)	74,097,384	0	74,097,384	0
投資有価証券(株式)	96,860,200	0	96,860,200	0
合計	194,411,071	0	194,411,071	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。 単位：円

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具	2,290,718	2,290,713	5
合計	2,290,718	2,290,713	5

今年度、ゲームシステム101 (NO.91330)とSYNTHESIZED SIGNALを除却した。

5 金融商品の状況に関して

- ▣ (1) 金融商品に対する取組方針
 当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。
- ▣ (2) 金融商品の内容及びリスク
 投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行対の信用リスク、市場価格のリスクにさらされている。
- ▣ (3) 金融商品の内容及びリスクに係る管理体制
 - ①信用リスクの管理
 債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。
 投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。
 - ②市場リスクの管理
 株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。
 投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載のとおりである。

2 引当金の明細

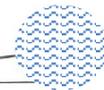
該当なし。

独立監査人の監査報告書

2023年5月22日

一般財団法人 石田實記念財団
理事会 御中

柴田公認会計士事務所
宮城県仙台市

公認会計士 柴田 純一 

監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人石田實記念財団の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度事業年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事長は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示のリスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示のリスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの

合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

2023年5月29日

一般財団法人石田實記念財団
理事長 根元 義章殿

一般財団法人石田實記念財団
監事 齊藤 伸 

監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

監査報告書

2023年5月30日

一般財団法人石田實記念財団
理事長 根元 義章殿

一般財団法人石田實記念財団

監事 長野 智幸



2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

□ 役員名簿（2022年度）

役職名	氏名 (敬称略)	現職 «2022年6月30日現在»
理事長	根元 義章	・東北大学名誉教授 ・国立研究開発法人 情報通信研究機構ネットワーク研究所 レジリエントICT研究センター 統括特別研究員
常務理事	米谷 恭児	・日本テクニカル・サービス株式会社 代表取締役社長
理事	澤谷 邦男	・東北大学名誉教授
理事	鈴木 陽一	・東北大学名誉教授 ・東北文化学園大学 工学部知能情報システム学科 学科長
理事	石田 甲	・大井電気株式会社 代表取締役社長
理事	久世 祐輔	・日本フィールド・エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
理事	富田 雄介	・岩田合同法律事務所 弁護士
理事	川又 政征	・東北大学名誉教授 ・東北職業能力開発大学校 校長
監事	齊藤 伸	・東北大学大学院工学研究科 電子工学専攻 教授
監事	長野 智幸	・三菱UFJ信託銀行株式会社 仙台支店 支店長
評議員	上杉 直	・東北工業大学名誉教授 ・学校法人東北工業大学 監事
評議員	伊藤 努	・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 東北センター 産総研イノベーションコーディネーター
評議員	川又 憲	・東北学院大学 工学部電気電子工学科 教授
評議員	仁井 克己	・大井電気株式会社 取締役経営管理本部長
評議員	渋谷 昭宏	・大井電気株式会社 SE本部 事業開拓エキスパート
事務局	萩原 栄裕	・大井電気株式会社 本社総務部
事務局	村山 健	・大井電気株式会社 情報システム部長